

- ◆ 成功事例・参考事例を募集しています  
→ <http://kyodokodo.jp/> トピックス内
- ◆ 質問・提案をお寄せください  
→ [advice@ppscamp.net](mailto:advice@ppscamp.net)
- ◆ 標準化病院死亡比(HSMR)を算出してお知らせします(申し込み 1月末まで)  
→ <http://kyodokodo.jp/hsmr.html>  
お問い合わせは→ [toHSMR@ppscamp.net](mailto:toHSMR@ppscamp.net)
- ◆ 参加登録病院用のバナーができました!

## CONTENTS

- 1 医療安全全国共同行動に日本臨床衛生検査技師会が新たにご参加くださいました
- 2 HSMRモニター病院/HSMR登録病院を募集しています!
- 3 フォーラム・セミナー等のご案内
- 4 行動目標3a支援チームからのご報告
- 5 病院の活動紹介～倉敷中央病院

### 1 医療安全全国共同行動に日本臨床衛生検査技師会が新たにご参加くださいました

共同行動への参加・協力団体が、現在82団体になりました。

\* 参加・協力団体の一覧はこちらからご覧ください。

[公開ページ/トップページ/メニュー](#) → 「パートナーズ」 → [「参加団体・協力団体」](#)

### 2 HSMRモニター病院/HSMR登録病院を募集しています!

詳しくは募集案内をご覧ください。共同行動ホームページ <http://kyodokodo.jp/hsmr.html> からダウンロードできます。お問い合わせは [toHSMR@ppscamp.net](mailto:toHSMR@ppscamp.net) まで。

- HSMR(標準化病院死亡比)をモニターして、取り組みの効果を実感してください(共同行動に参加登録されていない病院もご利用いただけます)

HSMRは患者側のリスクを調整した病院死亡率の指標で、改善効果を把握するのに役立ちます。DPCデータ(様式1)をお送りいただければ、6か月ごとの標準化病院死亡比(Hospital Standardized Mortality Ratio:HSMR)を算出してお知らせします。(無料)

### 3 フォーラム・セミナー等のご案内

#### 地域フォーラム

#### 鹿児島フォーラム、開催決定

日程: 4月24日(土) 会場: 鹿児島大学 鶴陵会館 \* 詳細は追ってお知らせいたします。

#### 8目標に関連するセミナー、シンポジウム、講習会

#### NEW! 近畿臨床血栓性疾患研究会 第67回定期勉強会(目標2に関連)

日時: 2月8日(月) 19:00～ 会場: 近畿大学医学部 専門棟 第9講義室

主催: 近畿臨床血栓性疾患研究会

\* 詳細は <http://kyodokodo.jp/doc/event/100208.pdf>

**NEW! 医療安全全国共同行動支援セミナー in 沖縄** (すべての目標に関連)

日時: 2月20日(土) 14:00～18:00 会場: 沖縄県医師会館(沖縄県南風原町)

主催: “医療安全全国共同行動支援セミナー in 沖縄” 実行委員会

\* 詳細は追ってお知らせいたします。

**NEW! 第7回近畿臨床血栓性疾患研究会** (目標2に関連)

日時: 2月20日(土) 14:00～16:30

会場: ビッグ・アイ(大阪府堺市) 国際障害者交流センター 研修室(大)

主催: 近畿臨床血栓性疾患研究会

\* 詳細は <http://kyodokodo.jp/doc/event/100220.pdf>

**NEW! 医療安全全国共同行動支援セミナー in 宮城** (目標5aに関連)

日時: 3月27日(土) 会場: 仙台国際センター「白樺1・2」

共催: 医療安全全国共同行動・東北大学病院医療安全推進室・テルモ株式会社

\* 詳細は <http://kyodokodo.jp/doc/event/100327.pdf>

**CPR講習会 ～ICLS・ACLS・BLS・PALS講習会** (目標6に関連)

4月までの講習会をご案内します。

\* <http://kyodokodo.jp/doc/event/091225CPR.xls> をご覧ください。

**弾性ストッキング・コンダクター講習会** (目標2に関連)

日時: 1月23日(土) 会場: アスピラート[防府市地域交流センター] (山口県)

日時: 3月20日(土) 会場: 京都会館大会議場

京都講習会のホームページ

<http://us-lead.com/sscc-knk/index.html>

日時: 10月30日(土) 13:00～17:00

会場: 杏林大学 大学院講堂(東京都)

主催: 日本静脈学会弾性ストッキング養成委員会

<http://www.js-phlebology.org/japanese/sscc/index.html>

**4 行動目標3a支援チームからのご報告****〈行動目標3a:危険手技の安全な実施—経鼻栄養チューブ挿入時の位置確認の徹底〉****● 教材DVD「経鼻栄養チューブの挿入と管理」ができました!**

安全な経鼻栄養チューブ挿入の手技をわかりやすく伝えるDVDが目標3a支援チームによって作成されました。希望される施設に無料でご提供いたします。

\* DVDのお申し込みは医療安全全国共同行動事務局 [secretariat@kyodokodo.jp](mailto:secretariat@kyodokodo.jp) まで。

各施設のさまざまな経験と工夫に学びながら、より安全かつ実用的な方法を常に模索していきたいと考えていますので、DVDを希望される病院は添付のアンケートにご回答いただきますようお願いいたします。

\* HPから動画をご覧いただけるよう準備中です(1月中旬にアップの予定)。

[公開ページ/トップページ/メニュー](#) → [「8つの行動目標と推奨する対策」](#) → [「支援ツール一覧/行動目標3a/TOOL BOX」](#) → 登録してお入りください

## ●医療安全全国フォーラム(2009.11.23)の報告

目標3aのワークショップは13:00～14:50と短い時間でボリュームあるプログラムになりましたが、会場はほぼ満席の76名の参加をいただきました。参加者の職種の内訳は医師10名、看護師62名、薬剤師、事務職他4名です。会場からは活発な意見交換と熱心な質疑のなか、参加者のご協力により定刻時間に無事終了することができました。主なワークショップの内容は下記の通りです。

- 1) 講義:危険手技の安全な実施「経鼻栄養チューブ挿入の確認」  
新横浜リハビリテーション病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 寺見 雅子  
《咽頭周辺の解剖・嚥下のしくみ・経鼻栄養チューブの安全な挿入と確認方法》
- 2) DVD試写「経鼻栄養チューブの挿入と管理」
- 3) 施設の取り組み例:会場内指名提言
- 4) ディスカッション
- 5) 演習
  - ① チューブ挿入後のレントゲン写真の確認のポイント
  - ② pH試験紙の使い方
  - ③ 経鼻栄養チューブ挿入のシミュレーション
  - ④ 経鼻栄養チューブの種類と特徴:各企業の説明展示(日本医療器材工業会よりJMS・日本シャーウッド・トップ)

今回のワークショップでは「人・物・技術」をテーマに、国内の経鼻チューブ、そして知識・技術・確認物品、教材を集め、より安全性の高い経鼻栄養チューブの挿入方法の確立と栄養剤注入直前の管理を考えました。DVD「経鼻栄養チューブの挿入と管理」も会場でご覧いただき、参加者のみなさんからたくさんの要望や意見をいただくなど、有意義なワークショップとなりました。



## 5 病院の活動紹介・・・倉敷中央病院

### 医師を対象にした医療安全研修会の紹介

財)倉敷中央病院 安全管理室担当、GRM 米井昭智

病院で医療安全を確保するにはリーダーが活動の先頭になることが第一に重要である。倉敷中央病院(倉中)では2001年から医師の医療安全への動機付けを高める目的で1泊2日の研修会(WS)を行っている。私は責任者として当初から運営に関わっており、本稿ではWSの内容について紹介する。

WSの目的は、「医療事故は身近にあることを知り、事故防止行動への意識を高める」とし、すべての医師が例外なく参加する。2009年末までに23回開催しており、500名以上の医師が参加している。一回の参加者は25名程度で、4つのグループに分かれて小グループ討論(SGD)と小グループ討論(SGD)を繰り返すWS形式で、プログラムは完全に倉中オリジナルである。

プログラムは、セッション1:ロールプレイ、セッション2:事例の根本分析(RCA)、セッション3:危険予知訓練、である。各セッションの間に3～4の講義があり、セッション終了毎にアンケートがある。アンケート結果は2週間以内にすべての参加者にフィードバックする。

セッション1は明確な過誤事例直後に担当医と指導医が家族に説明する場面のロールプ

レイを行う。小グループ討論（SGD）でロールプレイのビデオをプレイバックして議論し、小グループ討論（SGD）で発表する。セッション2は、倉中の警鐘的事例を検討し原因分析と再発防止策を議論する。「エラーは原因ではなく結果である」という考え、システム上の問題点を議論することが重要である。セッション3では、日常の危険な写真などを見せて、危険予知訓練を行う。このセッションはインストラクターの力量が問われるが、うまく行けば参加者が楽しむことができる。

WSを経験した外科系医師はタイムアウトを率先して行うようになるので、医師に対して動機付けを高める効果はあると思われる。医師同士のコミュニケーションを改善させる効果もあるかもしれない。WSが続いている理由としては、①病院長の強いリーダーシップがあり、病院長と事務長は最初から最後まで参加する、②安全活動を積極的に推進しようとする複数の医師、コメディカルがいる、③安全管理室長は企業の開発部長をしていた人物で、管理室の能力が高い、ことなどが考えられる。研修会を続ける中で次世代のリーダーが育ってくることを願っている。

### 共同行動キャンペーンポスターをご利用ください

(HPからダウンロードできます)

- 医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ”(日本版100K)
- 行動目標別キャンペーンポスター完成見本(目標1～目標8)
  - 公開ページ…[トップページ](#)
  - パートナーズ専用ページ…[トップページ](#)
- 行動目標別キャンペーンポスター基本デザイン(目標1～目標8)
  - パートナーズ専用ページ…[トップページ](#)

★ウェブマガジンWhat's on, Kyodokodoは毎月第2・第4金曜日に配信します  
院内にて掲示・回覧・配布等、ご活用ください

医療安全全国共同行動 “いのちをまもるパートナーズ”  
ウェブマガジン What's on, Kyodokodo 編集室

〒102-0082 東京都千代田区一番町13-8 一番町KKビル3階 社団法人日本病院会内  
TEL. 03-6380-9370 FAX. 03-6380-9371  
E-mail: [secretariat@kyodokodo.jp](mailto:secretariat@kyodokodo.jp) URL: <http://kyodokodo.jp/>